

Shin Fuji Burner RZ-510

下記警告サインの意味をご理解の上取扱説明をお読みください。 ⊘ マークは禁止を表します。

警告 指示に従わない場合は死亡、または重度の障害を負う可能性があります。

注意 指示に従わない場合は軽傷、または他の財物の損傷を引き起こすことになります。

警告

■使用上の注意

- 点火時および使用中は、火口を人体に向けたりのぞきこんだりしないでください。
- 使用中および使用直後は火口、火口付近が熱くなっていますので可燃物を近づけたり手を触れたりしないでください。

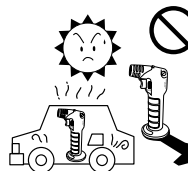
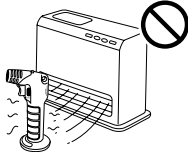


■充電時の注意

- 必ず火気のない所で行ってください。
- 充電時及び充電後にガス漏れのないことを確認してください。
- 点火中は絶対充電をしないでください。
- ガスがタンク内に残っていると充電できないことがあります。タンク内のガスを使いきってから充電してください。

■保管時の注意

- 本体をストーブ、ファンヒーターの前など熱気があたる場所に放置しないでください。熱でタンク内の圧力が上がり爆発する危険があります。
- 本体に強い衝撃を与えないでください。
- 本体を保管する際は、室内や窓際など直射日光のあたる場所や自動車内など高温になる場所を避けてください。また気温40℃以上になる場所に放置しないでください。タンク内の圧力が上がり爆発する危険があります。



■使用容器(ボンベ)の取扱上の注意

- 容器(ボンベ)は必ず新富士バーナー製品充電専用容器(ボンベ)RZ-550をご使用ください。
- 容器(ボンベ)に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。
- 容器(ボンベ)は、火気や直射日光(室内や車内の窓際など)を避け、キャップをして風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
- 容器(ボンベ)をファンヒーターの前など熱気のあたる場所に放置しないでください。熱で容器(ボンベ)の圧力が上がり爆発する危険があります。
- 容器(ボンベ)にまだガスが残っている場合は、そのまま温度の高い所に放置したり火の中に投入すると爆発する危険があります。
- 容器(ボンベ)は完全に使いきってから他のゴミと区別して捨ててください。(各自自治体の処理方法に従って捨ててください。)

注意

■ガス事故防止

- 万一、ガス漏れがあった時はすぐに消火し、空気を入れてください。ボタンガスは比重が重く下部にたまりやすいため完全に換気できるまでは火気は絶対に使用しないでください。
- 万一、異常燃焼を起こした場合や緊急の場合は、点火ボタンを離すか、ホールドつまみを上側(ホールド解除)にし消火してください。それでも消火しない場合は消火器などで消火してください。

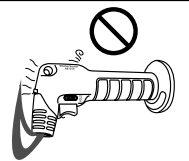
■取扱上の注意

- 燃焼中は火口、火口カバー、空気調整レバーは熱くなりますので絶対触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- 3分以上の連続使用はしないでください。やけど、器具の破損の原因となります。
- 使用中はその場所から絶対離れないでください。
- 燃えやすい物や熱に弱い物からは十分離れた場所で使用してください。
- 風の強い場所では使用しないでください。
- 火災は思いもかけぬことから発生することがありますのでご使用の際は火の元に十分ご注意ください。
- お子様の手の届かない所に保管してください。
- お子様には使用させないようにしてください。



■下向きにしての使用について

800℃の低温の炎で使用の際、右図のように火口を下向きにすると本体が加熱され、やけど、本体の破損の原因になりますので注意してください。



■使用容器(ボンベ)

新富士バーナー製品充電専用容器(ボンベ)

充電用ボンベ
パワーガスRG RZ-550



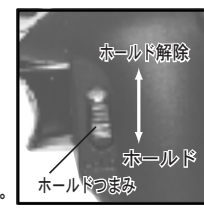
使用方法

■各部の名称



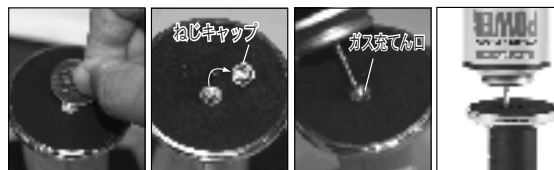
■ホールドつまみについて

ホールドつまみは、保管時に誤って点火させないための安全装置と、点火時に点火ボタンを離しても点火状態を保持するための機能を兼ねています。 ※消火後ホールドつまみを必ず下側(ホールド)の位置にして保管してください。



■ガスの充電

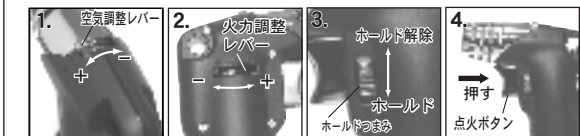
1. 本体の底のねじキャップをコイン等で左に回しゆるめ、本体から取りはずします。
2. ガス充電用口に容器(ボンベ)のステム(先端部)をまっすぐに差し込みガスを充電します。 ※容器(ボンベ)は新富士バーナー製品充電専用容器(ボンベ)RZ-550を必ずお使いください。
3. 充電用口よりガスが吹き出してきたら充電を終了します。ねじキャップを取り付けコイン等で締めます。 ※ガス充電は火気のない風通しの良い所で行ってください。



コイン等で左に回す ねじキャップを取る ガス充電用口に容器(ボンベ)のステム(先端部)をまっすぐに差し込む

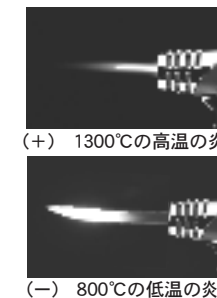
■点火

1. 空気調整レバーを(+)の方向いっぱいの位置にします。 ※(-)の位置では点火できません。
2. 火力調整レバーは中央より(+)の方向の位置にします。 ※(-)の位置では点火できません。
3. ホールドつまみを上側(ホールド解除)にします。 ※ホールドつまみが下側(ホールド)にあると点火できません。
4. 点火ボタンを押し、点火します。
5. 点火後、ホールドつまみを下側(ホールド)にすると点火ボタンを離しても点火状態が保持されます。



■空気の調整

空気調整レバーを(+)の方向にすると1300℃の高温の炎になります。(-)の位置にすると800℃の低温の炎になります。 ※空気調整レバーは熱くなりますので、空気の調整は点火直後に行ってください。



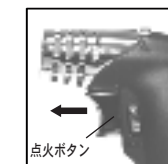
■火力調整

点火後、火力調整レバーで調整します。(+)の方向が強(-)の方向が弱くなります。(-)の方向へいっぱいにすると消火してしまいます。



■消火

- 1.炎がホールド状態でない場合、点火ボタンを離すと消火します。
- 2.炎がホールド状態の場合、ホールドつまみを上側(ホールド解除)にすると消火します。



点火ボタンを離す



ホールドつまみを上側にする

※消火後はホールドつまみを必ず下側(ホールド)の位置にして保管してください。